

平成26年度奨学審議委員会議事録

日 時：平成26年5月23日（金）

9時30分～10時30分

場 所：石狩市役所本庁舎

4階 401・402会議室

出席委員 市内中学校長6名：田中委員、佐々木委員、大西委員、千葉委員、
武岡委員、川村委員
民生委員2名：中川委員、片岡委員
学識経験者4名：河本委員、桑島委員、勝木委員、吉田委員 計12名

欠席委員 民生委員1名：東委員
学識経験者2名：久保田委員、後藤委員 計 3名

事務局 百井生涯学習部長、安崎学校教育課長、山下学校教育担当主査、田原主任

傍 聴 個人情報を取り扱うことから非公開

会議次第

1. 教育長挨拶

2. 委員長及び副委員長選任

委員の互選により、千葉英一委員長、大西二生副委員長を選出した。

3. 諮問

平成26年度奨学生の選考について

4. 審議

審議に先立ち、事務局において資料等の説明を行い、資料は審議終了後に回収した。

応募者 119名（高校生91名、大学生28名）

【応募状況：事務局説明】

- ・今年度の応募者数は、高校生91名、大学生28名の119名となっており、昨年度の応募者数103名（高校生73名、大学生30名）より約15%程度増えている。
- ・今年度の応募者のうち、前年度に奨学生として選考されていたものは、高校生が22名、大学生17名である。

【本年度選定基本方針】

- ・ 前年度に奨学金を受けている者は、基本的にその家庭状況が変わらなければ選考すべきと考えますが、成績やその他の応募者の状況で選考しない場合もあり得ます。特に、今年度は前年度より応募者数が多いため、選考しない場合も十分あり得ると考えます。
- ・ きょうだいで応募し、そのいずれも選考基準を満たしている場合は、より多くの家庭に奨学金の受給の機会を与えるために、きょうだいのうちいずれか1人を選定した方がよいと考えます。
- ・ 高校、大学の応募者のどちらに重きを置いて選考すべきかといえば、現状では中学卒業からの就職は非常に厳しく、ほとんど高校に進学していること、また、高校の場合大学に比べ奨学金制度の充実度が劣り、更に大学生に比べアルバイトで自ら学費等を賄うことができるかという点からも、やはり高校生ではないかと考えます。

5. 答申

高校生41名、大学生13名を平成26年度奨学生として選考。

平成26年6月10日 議事録確定

石狩市奨学審議委員会 委員長 千葉 英一